



2026 年 7 月 21 日

各 位

会 社 名 太平洋セメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 田浦 良文
(コード番号 5233 東証プライム、福証)
問合せ先 執行役員 総務部長 池田 厚
(TEL 03-5801-0364)

固定資産の譲渡に伴う特別利益の計上、ならびに
業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社所有の固定資産の譲渡を決議いたしました。これに伴う 2027 年 3 月期第 2 四半期における特別利益の計上、ならびに 2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）及び 2027 年 3 月期通期の業績予想の修正について、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 固定資産の譲渡に伴う特別利益の計上

当社は、2027 年 3 月期第 2 四半期において固定資産の譲渡に伴う売却益を特別利益として計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

(1) 譲渡資産の内容

資 産 の 内 容	土地
所 在 地	東京都中央区晴海二丁目 100 番外 1 筆
現 況	遊休（一部賃貸用不動産）
譲 渡 益	18,737 百万円

※譲渡価額および帳簿価額につきましては譲渡先との守秘義務契約の関係から公表は控えさせていただきます。

(2) 譲渡先の概要

譲渡先は国内法人ですが、譲渡先との守秘義務契約の関係から公表は控えさせていただきます。
なお、譲渡先と当社との間で資本関係、人的関係および取引関係はありません。また、譲渡先は当社の関連当事者にも該当しません。

(3) 譲渡の理由

経営資源の再配分ならびに持続的な成長に向けた投資資金の確保を目的として記載の固定資産を譲渡するものです。

(4) 譲渡の日程

取締役会決議日	2026 年 7 月 21 日
譲渡契約締結日	2026 年 8 月 26 日（予定）
譲渡資産引渡日	2026 年 8 月 26 日（予定）

(5) 今後の見通し

当該固定資産の譲渡に伴い、2027年3月期第2四半期において、約187億円の固定資産売却益(特別利益)を計上する見込みです。

2. 業績予想の修正

2027年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想数値の修正(2026年4月1日～2026年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	470,000	27,000	25,500	14,000	125.44
今回修正予想 (B)	470,000	27,000	25,500	34,000	310.40
増 減 額 (B－A)	0	0	0	20,000	
増 減 率 (%)	0.0	0.0	0.0	142.9	
(ご参考) 前期実績 (2026年3月期第2四半期(中間期))	438,141	32,853	32,946	24,485	219.68

2027年3月期通期連結業績予想数値の修正(2026年4月1日～2027年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,027,000	76,000	70,000	48,000	430.10
今回修正予想 (B)	1,027,000	76,000	70,000	63,000	575.14
増 減 額 (B－A)	0	0	0	15,000	
増 減 率 (%)	0.0	0.0	0.0	31.3	
(ご参考) 前期実績 (2026年3月期)	898,441	74,620	75,087	25,401	227.86

2027年3月期通期個別業績予想数値の修正(2026年4月1日～2027年3月31日)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	375,000	27,000	23,000	205.65
今回修正予想 (B)	375,000	27,000	38,000	346.16
増 減 額 (B－A)	0	0	15,000	
増 減 率 (%)	0.0	0.0	65.2	
(ご参考) 前期実績 (2026年3月期)	339,217	47,288	8,449	75.63

3. 業績予想修正の理由

2027年3月期第2四半期(中間期)におきまして、本件固定資産の譲渡に伴う特別利益の計上により、親会社株主に帰属する中間純利益が前回予想を上回る見通しです。

通期業績予想につきましては、上期の業績予想を考慮し、連結及び個別ともに変動する見通しです。

※上記の予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、経済情勢、市場需要、原燃料価格、為替レート等様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上